

令和3年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,506	8,831	4,465	4,366	△ 22	△ 24
2 千 石	3,880	6,623	3,372	3,251	0	△ 2
3 内 山	5,618	7,990	4,265	3,725	△ 16	△ 12
4 大 和	3,410	6,661	3,265	3,396	△ 4	4
5 上 野	7,374	15,463	7,606	7,857	1	△ 9
6 高 見	7,293	13,316	6,379	6,937	4	20
7 春 岡	6,847	11,032	5,778	5,254	28	22
8 田 代	11,226	21,892	10,438	11,454	24	57
9 東 山	10,318	19,328	9,427	9,901	0	△ 16
10 見 付	4,370	8,224	4,115	4,109	17	30
11 星ヶ丘	3,459	6,809	3,041	3,768	△ 11	△ 21
12 自由ヶ丘	3,564	7,278	3,293	3,985	△ 6	△ 16
13 富士見台	6,434	15,220	6,930	8,290	11	10
14 宮 根	3,777	8,129	3,765	4,364	2	△ 16
15 千代田橋	3,696	8,358	3,949	4,409	4	4
千 種 区 計	86,772	165,154	80,088	85,066	32	31
R2. 8. 1	88,426	166,079	81,135	84,944	5	△ 44
対 前 年 比	△ 1654	△ 925	△ 1047	122	27	75
名 古 屋 市	1,125,357	2,327,954	1,143,101	1,184,853	△ 21	△ 477
愛 知 県 (R3. 7. 1)	3,248,401	7,525,239	3,749,680	3,775,559	33	△ 2,561

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	108	106	2	928	899	29

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118		
平成2年	156,478	平成22年	160,015	これまでの最少人口	
平成7年	148,847	平成27年	164,696	146,727 (平成11年4月1日)	

注1) 令和2年度の国勢調査の世帯数と人口は、確定値が出ていないため千種区人口は未掲載。
 注2) 世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

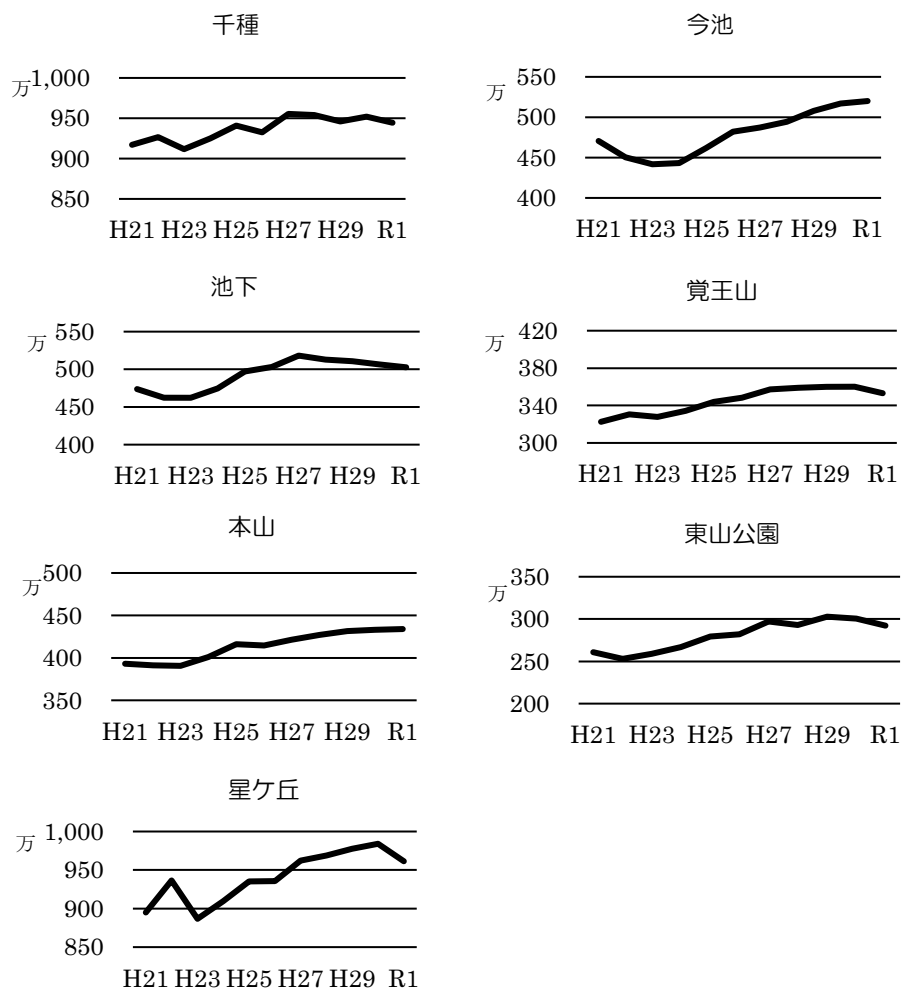


図 1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数

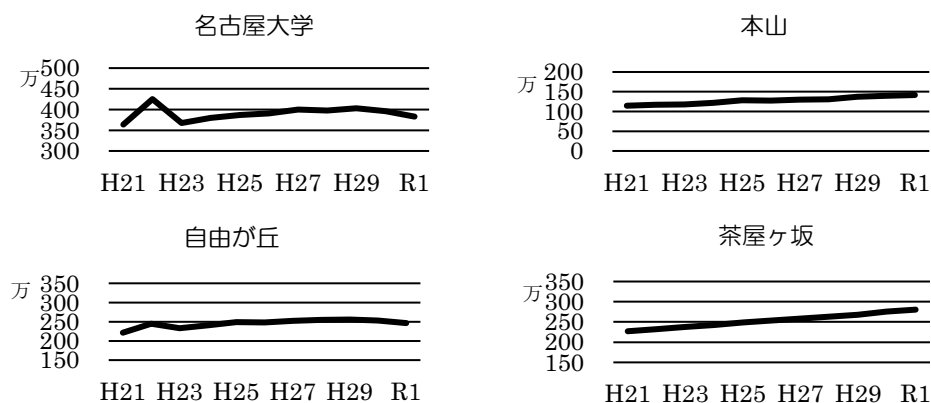


図 2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数

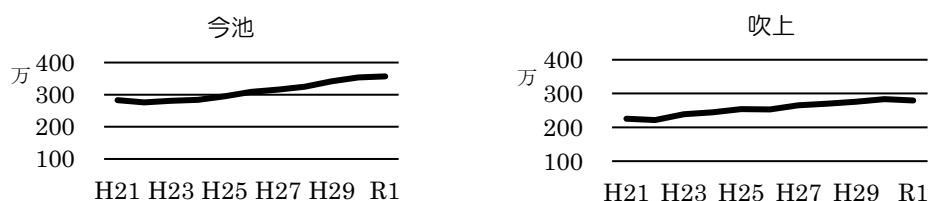


図 3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数

今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘（約961万人）、千種（約945万人）、今池（約520万人）、池下（約503万人）、本山（約434万人）、覚王山（約353万人）、東山公園（約292万人）となっています。

令和元年度は、今池と本山の利用者数増加以外は減少しています。平成21年比で増加数を見ると、10年間で星ヶ丘は約66万人、今池は約49万人、東山公園は約32万人増加しています。

つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約383万人）、茶屋ヶ坂（約280万人）、自由ヶ丘（約247万人）、本山（約142万人）となっています。本山と茶屋ヶ坂はやや増加傾向にありますが、名古屋大学と自由ヶ丘は、令和元年度は減少しています。

最後に桜通線を見てみると、令和元年度の乗車人員数は、多い順に今池（約357万人）、吹上（約280万人）です。今池は増加傾向にありますが、吹上は令和元年度は減少しています。